



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

コード番号 7976 URL <http://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長谷川 直人 TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	14,938	4.5	2,553	13.8	3,072	25.5	1,739	10.6
24年12月期第1四半期	14,292	3.3	2,244	3.4	2,449	10.2	1,572	6.4

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 3,701百万円 (43.8%) 24年12月期第1四半期 2,573百万円 (74.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	59.97	—
24年12月期第1四半期	54.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	74,277	54,471	72.1	1,846.51
24年12月期	70,027	51,179	71.9	1,736.52

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 53,553百万円 24年12月期 50,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	12.50	—	13.50	26.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
24年期末配当金13円50銭は、「ポスカ」発売30年記念配当金1円を含んでおります。

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	2.8	3,500	7.2	3,700	4.2	2,200	2.6	75.86
通期	52,000	2.8	6,700	9.5	7,000	7.3	4,200	7.7	144.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理を適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期1Q	32,143,146株	24年12月期	32,143,146株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	3,140,651株	24年12月期	3,140,388株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期1Q	29,002,623株	24年12月期1Q	29,006,819株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）におけるわが国経済は、昨年末の政権交代に伴う経済政策への期待から円高が是正され、輸出企業を中心に収益改善傾向や株高基調が鮮明となり、景況感改善への期待が一段と高まってはいるものの、欧州債務危機の再燃や新興国経済の減速、米国の財政問題などから、依然として不透明な景況感で推移いたしました。

当社グループが属しております筆記具業界におきましても、国内を中心に今後の需要改善への期待感が高まりつつあるものの、市場競争は国内外を越えて激しさを増しつつあり、お客様の商品や品質、価格に対する選別の目はより一層厳しくなっております。

このような経営環境の中、当社グループは、「最高の品質こそ最大のサービス」という社是の原点に立ち返り、高付加価値で高品質な商品開発を行ってまいりました。「ジェットストリーム」や「クルトガ」、「スタイルフィット」といった主力商品の販売に注力する一方で、従来までのインクやペン先（チップ）を全面的に見直した『極細なのになめらか』なノック式ゲルインクボールペン「ユニボールシグノRT1」や蛍光ペン「プロマークビュー」を新たに発売するなどして、多様化するお客様のニーズや価値観にもお応え出来るよう努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は149億38百万円（前年同期比4.5%増）となりました。また営業利益は25億53百万円（前年同期比13.8%増）、経常利益は30億72百万円（前年同期比25.5%増）、四半期純利益は17億39百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、主力商品の販売が堅調に推移した事に加えて円高是正の影響も受け、この結果、外部顧客に対する売上高は142億52百万円（前年同期比4.9%増）となりました。一方、その他の事業は、景気回復の期待感はあるものの事業を取り巻く環境は引続き厳しく粘着テープ及び手工芸品共に厳しい状況で推移し、この結果、外部顧客への売上高は6億86百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて42億49百万円増加し742億77百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が27億34百万円増加したことに加えて投資有価証券が18億37百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて9億57百万円増加し198億5百万円となりました。これは主に賞与引当金が6億18百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて32億91百万円増加し544億71百万円となりました。これは主に利益剰余金が13億49百万円増加したことに加えてその他の包括利益累計額が18億40百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

（4）追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,368	22,675
受取手形及び売掛金	13,546	16,280
たな卸資産	11,744	11,252
その他	1,935	1,774
貸倒引当金	△113	△134
流動資産合計	49,481	51,848
固定資産		
有形固定資産	11,591	11,627
無形固定資産	134	148
投資その他の資産		
投資有価証券	7,012	8,849
その他	1,811	1,808
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	8,819	10,652
固定資産合計	20,546	22,428
資産合計	70,027	74,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,139	7,428
短期借入金	1,461	1,651
未払法人税等	1,508	923
賞与引当金	410	1,028
返品引当金	60	60
その他	4,198	3,910
流動負債合計	14,778	15,003
固定負債		
長期借入金	5	4
退職給付引当金	2,575	2,530
役員退職慰労引当金	721	733
環境対策引当金	29	29
負ののれん	82	65
その他	655	1,438
固定負債合計	4,069	4,801
負債合計	18,848	19,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,583	3,583
利益剰余金	44,438	45,787
自己株式	△3,314	△3,314
株主資本合計	49,204	50,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,659	2,948
繰延ヘッジ損益	△33	△34
為替換算調整勘定	△466	85
その他の包括利益累計額合計	1,159	2,999
少数株主持分	815	918
純資産合計	51,179	54,471
負債純資産合計	70,027	74,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	14,292	14,938
売上原価	7,615	7,761
売上総利益	6,677	7,176
販売費及び一般管理費	4,433	4,623
営業利益	2,244	2,553
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	2	2
受取地代家賃	34	32
負ののれん償却額	16	16
為替差益	157	460
その他	38	49
営業外収益合計	256	567
営業外費用		
支払利息	2	3
持分法による投資損失	13	10
シンジケートローン手数料	18	18
その他	17	16
営業外費用合計	51	48
経常利益	2,449	3,072
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	5	4
投資有価証券評価損	—	164
会員権評価損	12	—
代理店契約解約損	—	18
特別損失合計	18	187
税金等調整前四半期純利益	2,432	2,885
法人税等	823	1,061
少数株主損益調整前四半期純利益	1,609	1,824
少数株主利益	37	85
四半期純利益	1,572	1,739

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,609	1,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	620	1,288
繰延ヘッジ損益	△17	△1
為替換算調整勘定	361	589
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	963	1,877
四半期包括利益	2,573	3,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,504	3,579
少数株主に係る四半期包括利益	68	122

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	13,587	705	14,292	—	14,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	15	19	△19	—
計	13,591	721	14,312	△19	14,292
セグメント利益	2,215	23	2,238	5	2,244

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	14,252	686	14,938	—	14,938
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	6	14	△14	—
計	14,261	692	14,953	△14	14,938
セグメント利益	2,519	28	2,548	5	2,553

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。